

生活給付金

財源はどうする？

消費税？所得税？

障害者と健常者

ケア労働

ベイ・エクイティ

反貧困

BASIC INCOME

REDDITO DI CITTADINANZA

ベーシック・インカム日本ネットワーク設立集会

ベーシック・インカムで 繋がれるか・変えられるのか

奨学金と借金

地方とコミュニティ

アウトノミア運動とユーロメーデー

RENTA BASICA

グローバリゼーションと金融危機

南北問題とナミビアの実験

入場無料

申し込み不要

通訳つき

BIJN設立記念国際学術シンポジウム

「グローバリゼーションと労働の新しい形:ベーシック・インカムをめぐる世界の動き」

(第一部)

同時通訳あり

(第二部)

逐次通訳あり



3月26日(金) 15:30-17:20

会場: 同志社大学寒梅館「ハーディー・ホール」

講師: アンドレア・フマガリ氏

(パヴィア大学教授・BIイタリアネットワーク)

3月27日(土) 10:00-12:00

会場: 同志社大学新町キャンパス「臨光館」2F

講師: ガイ・スタンディング氏

(パース大学教授・BI世界ネットワーク)



ベーシック・インカム日本ネットワーク (BIJN) 設立集会

【日時】 2010年3月27日(土) 13:15-18:15

【会場】 同志社大学 新町キャンパス「臨光館」2F

リレートーク×分科会×国際連帯セッション

●BIJN設立前夜祭

日時: 3月26日(金) 18:00-20:30

会場: 同志社大学寒梅館地下A会議室

逐次通訳あり



崔光垠氏
BI韓国ネットワーク

※情報保障・託児などを必要とされる方は3/15日(月)までにご連絡をお願いします

【お問い合わせ】 同志社大学ライフリスク研究センター 事務局

Email: rc-risk@mail.doshisha.ac.jp Tel.075-251-3728 Fax.075-251-3727

http://tyamamor.doshisha.ac.jp (同志社大学 山森亮 研究室)

http://liferisk.doshisha.ac.jp (同志社大学ライフリスク研究センター)

主催: ベーシック・インカム日本ネットワーク (BIJN)

共催: 同志社大学ライフリスク研究センター

同志社大学社会福祉教育・研究支援センター

協賛: 福祉社会学会

■京都市営地下鉄

「今出川」駅下車

最寄は2番出口

エレベータは3番出口



〒602-8580 京都市上京区今出川通り烏丸東入 TEL.075-251-3120

http://www.doshisha.ac.jp/access/ima_access.html

ベーシック・インカムで繋がれるのか、変えられるのか。 その先にある未来とは？

ベーシック・インカムとは、生活給付金をすべての人に無条件で給付するという考え方です。「働かざる者食うべからず」ではないか、という批判や、「財源がない！」という実地的な批判まで、さまざまな批判が惹起されています。一見夢物語のようにも響くこの考え方は、実は200年ほど前から断続的に議論され、ヨーロッパではこの30年くらい、少しずつ声が大きくなってきました。このミレニアムに入って、ヨーロッパでは街頭のメーデー行進などでも大きくこのベーシック・インカムが掲げられる一方で、経済界にもベーシック・インカムの宣伝に力を入れている経営者がいます。日本でも反貧困運動のなかで、あるいは研究者たちの議論のなかで、あるいはまたインターネット上のブロガーたちの議論のなかで、話題に上っています。2010年、ベーシック・インカム日本ネットワークが設立されます。

講師・発題者・分科会オーガナイザー 紹介

ーベーシック・インカム日本ネットワーク設立集会ー

「ベーシック・インカムで繋がれるのか・変えられるのか」

■リレートーク発題者

三澤 了 (障害者インターナショナル日本会議議長)
屋嘉比ふみ子 (ペイ・エクイティ・コンサルティング・オフィス)
白崎 朝子 (安全な労働と所得保障を求める女性介護労働者の会)
岸本 聡 (全建総連釧路建設ユニオン書記長)
栗原 康 (奨学金ブラックリストの会in東京)

■分科会オーガナイザー

ベーシックインカム・実現を探る会

中野 冬美 (しんぐるまざあず・ふぉーらむ・関西)
渡邊 琢 (ベーシックインカム要求者組合、かりん燈～万人の所得保障を目指す介助者の会)

[敬称略]

ーBIJN設立記念国際学術シンポジウムー

「グローバル化と労働の新しい形：ベーシック・インカムをめぐる世界の動き」

■第一部 3月26日 (金)

バイオ資本主義・感情労働・ プレカリアート運動

講師：アンドレア・フマガリ
(Andrea Fumagalli)

イタリアのアウトノミア運動に10代で関わる。その後経済学を志し、ミラノ、パリ、ニューヨークで学ぶ。現在パヴィア大学教授。またイタリアのプレカリアート運動やヨーロッパのユーロメイデー運動などに関わる傍ら、ベーシック・インカム・イタリア・ネットワーク (BIN-Italy) の設立に奔走。主著に、「Bioeconomia e Capitalismo Cognitivo」ほか。邦訳論文に「認知資本主義下におけるベーシック・インカムと対抗権力」(『VOL』2号、2007年5月)がある他、「グローバル経済の危機(原題)」が邦訳予定。初来日。

■第二部 3月27日 (土)

グローバル化後の労働

講師：ガイ・スタンディング
(Guy Standing)

ILO (国際労働機関) にて、中東欧チームディレクター、労働市場政策部門ディレクター、社会経済的保障プログラムディレクターとして長きにわたり活躍してきた傍ら、創設メンバーとしてBIEN (Basic Income Earth Network) の活動に当初から関わり、現在は名誉代表 (honorary president) を務めている。ILO退職後、2006年4月より英国バース大学教授、英国社会科学アカデミー会員。主著は最新作「Work after Globalisation」をはじめ、「Global Labour Flexibility」「Beyond the New Paternalism」など。